

みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



ワークショップ（第4回）

2025年2月11日（火・祝）14:00～



本日のプログラム

14:00～	20分	1.これまでの振り返り 2. 社会実験の報告など
14:20～	35分	3.グループワーク1(社会実験) ・来年度の社会実験について ・各班で出た意見の共有(発表)
14:55～	15分	4. 紫金山公園の目指すべき姿(案)説明
15:10～	35分	5.グループワーク2(目指すべき姿) ・将来の紫金山公園の魅力アップをイメージ ・各班で出た意見の共有(発表)
15:45～	10分	6.総括

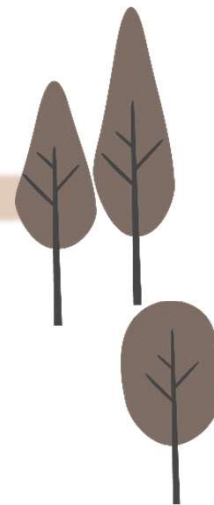
- ・ 申込いただいた方々
- ・ 紫金山公園に關係する団体に所属する方

主催：吹田市土木部公園みどり室

アドバイザー：大藪 崇司先生（兵庫県立淡路景観園芸学校）

オブザーバー：吹田市立博物館

ファシリテーター：総合調査設計



紫金山公園魅力向上ワークショップの枠組み

3

魅力向上 とは

ゼロベースで公園を作り直すのではなく、現状の「歴史・民俗の伝承、自然環境の保全」という公園の特性を踏まえ、一層の魅力向上を図る

対象

紫金山公園全域

目的

市民と行政の対話、市民相互の対話により相互理解を深める

ニーズ調査等では把握できなかった、よりきめ細かな意見をお聞きます。

※参加者全員の意見を1つにまとめるものではありませんので、自由にご意見ください。
※全ての意見を「目指すべき姿（素案）」に反映するものではありませんので、ご理解ください。

目標

紫金山公園の「目指すべき姿（素案）」の作成

素案をもとに、これまで市が行った調査（公園利用者数調査、ニーズ調査、サウンディング型市場調査）等を踏まえ、市が総合的に検討して紫金山公園の理念や目標像を示す「目指すべき姿（案）」を作成します。

その後、案についての説明会と意見募集（パブコメ）を行い、広く意見を拝聴した上で、市が最終的に「目指すべき姿」としてとりまとめます。

留意事項

- ①「目指すべき姿（素案）」は具体的な施設内容等を描くものではなく、理念や目標像を示すものです。
- ②博物館エリアや釈迦ヶ池の区域は原則変更しません。

本日の意見を踏まえて

「紫金山公園の目指すべき姿（案）」を作成

令和7年
3/3～4/3(予定)

パブリックコメントの実施

パブコメの意見を踏まえて

「紫金山公園の目指すべき姿」を策定・公表

令和7年度

社会実験の実施／公募条件の検討、予算要求など

令和8年度～

指定管理者の公募／再整備に向けた設計・工事

みんなでつくる 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？

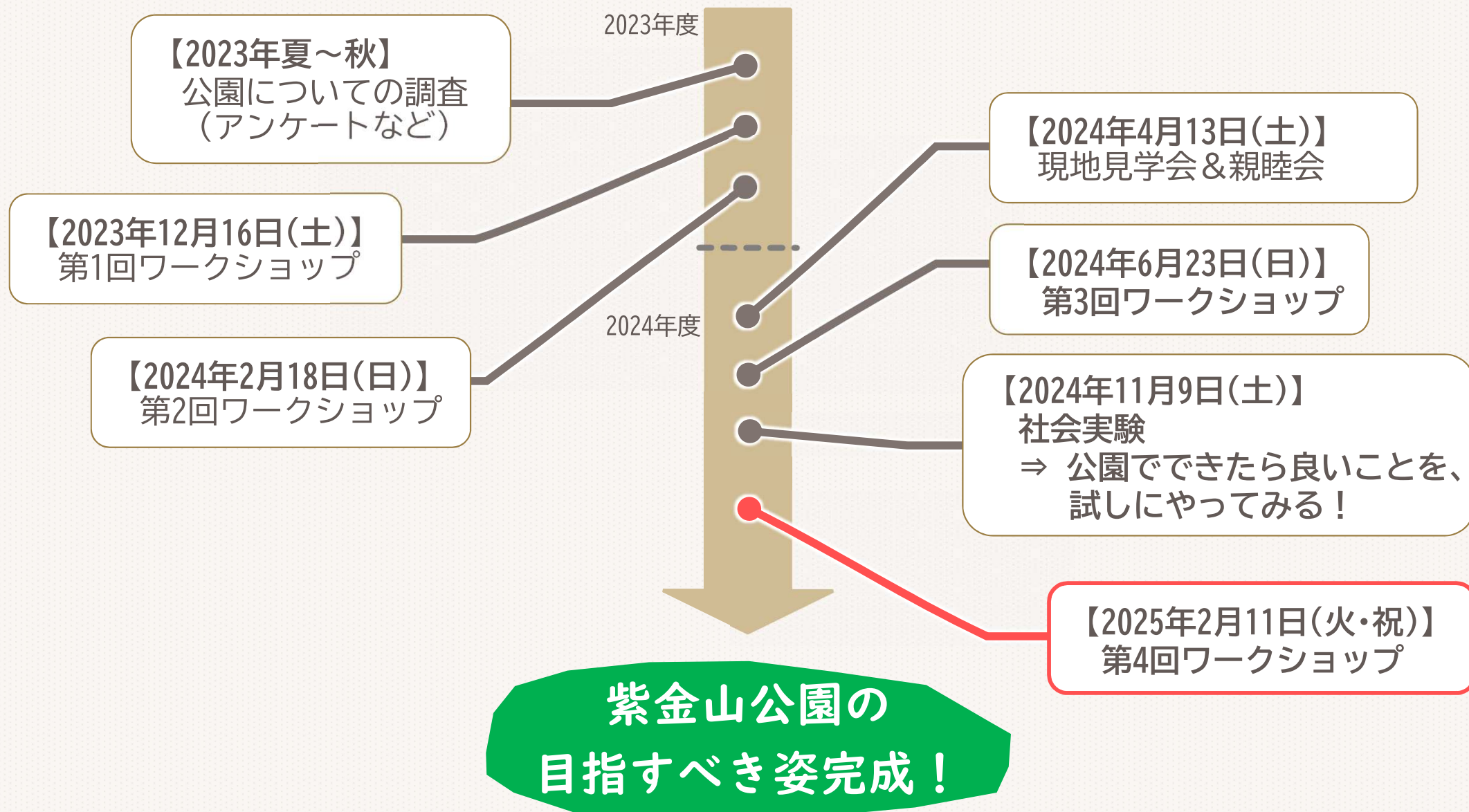


これまでの振り返り



これまでのスケジュール

6



第1回のワークショップについて

7

・実施日：令和5年12月16日

・参加人数：54名（うちお子さん2名）

「今の公園の魅力」「変えたいこと」「してみたいこと」「あれば良いもの」について議論



自然

- いろいろなどんぐりの木、コバノミツバツツジ、桜、たくさんの野鳥等、季節ごとの豊かな自然が魅力
- 自然の魅力を高めたり、自然の中で遊べるようにできたら良い
→コナラやクヌギ等の実のなる植物を植える
→木の名前の札をつける
→危険なところの解消
→広場における外来種の対策
- 釈迦ヶ池の水辺が感じられると良い
→釈迦ヶ池が見えるように整備する
- 貴重な里山中心の公園として保全していきたい
→林・水辺・草原・田んぼがそろっている
→子供と一緒に里山や水辺を体験できる場所
- 自然の魅力を伝えるものが必要
- 自然共生サイトへ登録
- 都市計画道路がどのように通るかで公園の姿が変わる
→自然環境への影響が少ない方向へアピールが必要

公園施設

- 公園内のトイレが古くなっているので、改修してバリアフリーにしてほしい
- 遊び場がもっと良くなったら良い
→うんてい、水遊び、滑り台、アスレチックエリア
- 休憩できる場所があったら良い
→日かげ、あずまや、自動販売機
- オープンで多世代が集まって交流できる場所が必要
→カフェ、集会室、地域の掲示板
- 駐車場が広くて無料なのが良い
- 駐車場が無料なのはもったいないのでコインパーキングにしたかどうか
- 老朽化した場所の修繕が必要
→崩れた石垣など
- 博物館に展望台を設け、吹田市を一望できるようにしてみたらどうか？

歴史

- 吉志部神社が近くにあるのが魅力
- 歴史や民俗の伝承が伝承されてきた場所
→歴史を体験できる取り組みがあると良い
- 史跡に関する案内が分かりにくい
→史跡を説明する看板があったり、案内する人がいると良い
- 博物館があるが、あまり利用されていないので有効に利用できると良い
→バックヤードツアー、公園内の史跡との連携、学校との連携
- ピンク火山灰層を保全してほしい

利用

- 世代間の交流ができるような、いろんなイベントを行いたい
- ゆっくりできる場所があると良い
- スポーツやアクティビティを楽しめる場所があると良い
- 走り回ったり、ボールでも遊べる広い場所が魅力
→「遊べるところ」と「憩えるところ」、「球技をするところ」と「そうでないところ」を分けてほしい
- 池があるのに、水辺で遊べる場所がない。安全に遊べる場所が欲しい
→釣り堀、安全のためのフェンス
- 映えスポットがあると良い
- 誰もが移動しやすい環境や工夫が必要
→電動カート、水辺の周遊路でのアクセス改善
- 夜に通ると暗い場所がある。照明を増やして明るくしてほしい。
→夜も使えるようになるが、不審者が増えたり、たまり場になると困る
→照明を増やすと植物への影響が心配。影響が少ないようにしてほしい。
- どっちに行けば何があるか分かるような案内サインが欲しい
- 吹田SAと行き来できると良い
- 市民による活動が活発。市民も一緒に作る必要がある。ボランティアが連携したり、次世代につなげられる場があれば・・・
- 公園のPRができていない。情報発信が必要

第2回のワークショップについて

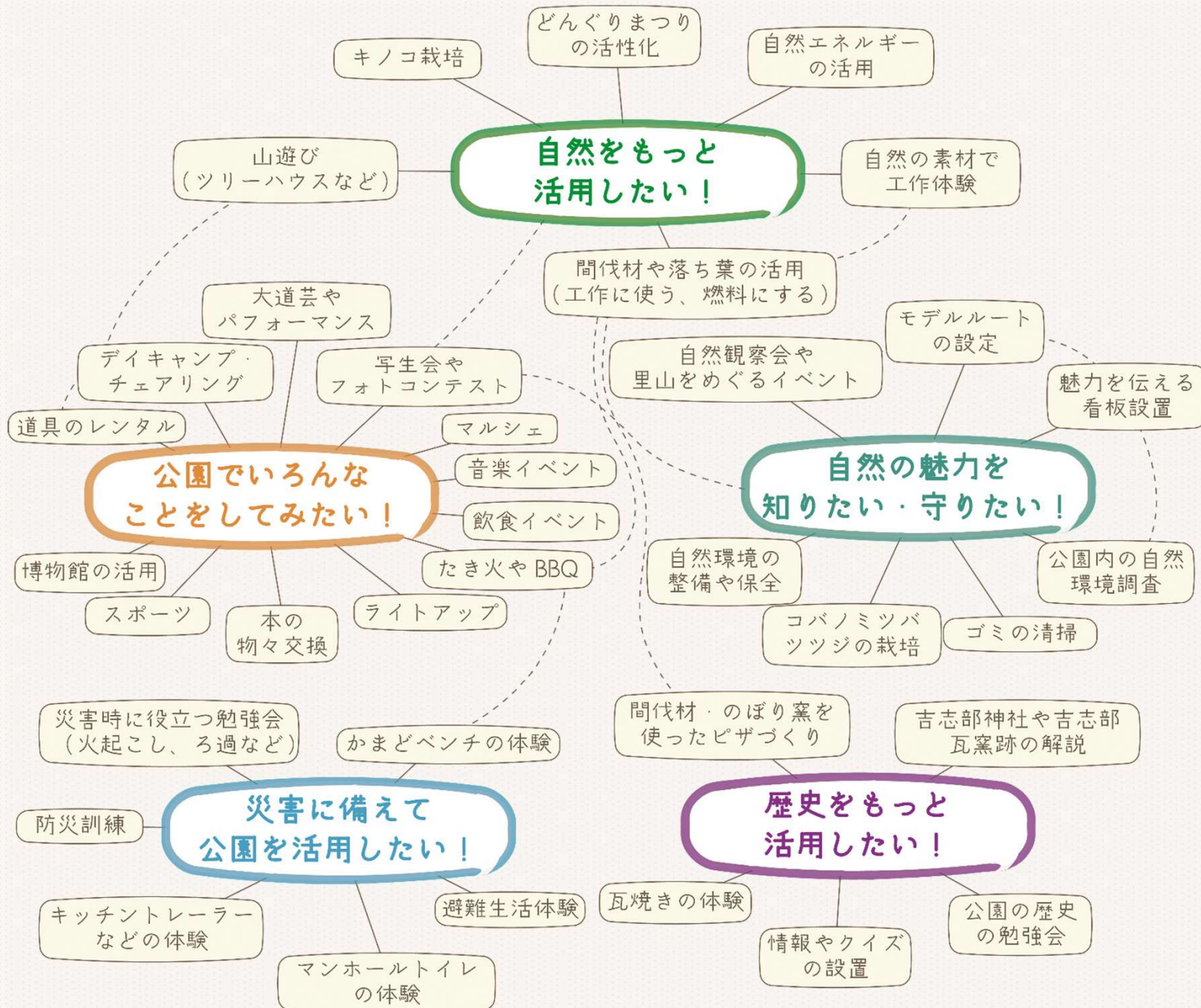
9

- ・ 実施日：令和6年2月18日
- ・ 参加人数：45名（うちお子さん2名）
- ・ 議論のテーマ：「公園でしてみたいこと」についてもう少し深く考えてみる



第2回のワークショップの結果

10



第2回のワークショップの結果

実施の難易度	憩い・交流	防災	自然・歴史
★ (おそらくできる)	水遊び施設、ボール遊び	焚火・火起こし、 避難ルートの確認	自然観察会(教育含む)、 動植物調査、里山保全体験、 自然ガイド、博物館イベント 歴史ガイド・勉強会、
★★ (課題はあるが できそう)	マルシェ、飲食イベント、 大道芸・パフォーマンス、 写生会、フォトコンテスト、 チェアリング、本の物々交換、 道具のレンタル(テント、お もちゃ)、ライトアップ・イルミ ネーション	キャンプ・デイキャンプ (テントを張る)、 落葉・間伐材の活用 (焼き芋)、炊き出し、 BBQ、トレーラー、 防災に関する勉強会、 池の水ろ過	外来生物の駆除、樹木剪定(ま びく、下草刈)、雑木林の整備、 モデルルート、魅力を伝える看板、 謎解き、スタンプラリー、 自然体験イベント (工作、泥遊び、もちつき)
★★★ (課題が多く 今回の社会実験 では難しそう)	音楽イベント、 ツリーハウス、秘密基地、窯 焼き体験(瓦・ピザ)	かまどベンチ、防災トイレ、 エネルギー創出	池調査、コバノミツバツツジ栽培、 キノコ栽培、たい肥づくり

紫金山公園の「いま」を知る！

公園なう ～現地見学会～

みんなで現地見学会を行いました

⇒公園の魅力や課題を見つけるために、参加者の皆さんと
現地見学会を行いました
(令和6年4月13日(土)、参加者34名)



←北側の広場
からスタート

みどりの会の活動を
説明してもらいました→



←吉志部神社の歴史を
教えてもらいました

見つけた魅力や
課題を共有！ →



見学会の後は親睦会！

⇒現地見学会の後は博物館横の広場に移動！
みんなで一緒に食べて、遊んで楽しみました



第3回のワークショップについて

13

- ・実施日：令和6年6月23日
- ・参加人数：34名（うちお子さん3名）
- ・議論のテーマ：「公園でしてみたいこと」を試すための準備を進める



第3回のワークショップの結果

■第3回ワークショップの意見概要（社会実験の目標、やってみること）

	憩い・交流	防災
目標	①広く一般の方が参加できるものにする ②みんなが主人公、みんなでやってみる	①地域の防災意識を高める ②公園の特徴を活かす（紫金山公園だからできることをやる）
やってみることの案	〈特にやってみたいこと（まとめで参加者に聞き取り）〉 ・食関連：市民がつくる料理たきだし、大皿おなベコンテスト ドングリクッキー ・交流関連：間伐材でクラフトワークショップ 放水で消す 1day ペイントイベント スウェーデントーチ、ドングリファイヤー 〈その他〉 ・運動会、スポーツ（子供も大人も混合） ・大人も子どもも交じったマラソン大会、トレイルランニング ・ドッグラン ・かえっこ図書館 ・ゲーム大会（モルック、梅干し飛ばし大会、泥んこ大会） ・アイスクリーム、わたがし ・吹田でとれた野菜試食会、朝市（市民と農家のつながり） ・公園の資源を使ったイベント（3月：梅を見る会、コバノミツバツツジ、10月：どんぐり祭り（食やクラフト）） ・キッチンカー、デイキャンプ、シェルター ・トンネルの絵をリニューアル ・花火 ・みんなで作った家具を置いてみる ・植樹会（ドングリ、野菜…） ・舟、カヌー、サップ	・災害時の一連の動きを確認（発生直後、避難後…） ・地域の防災の情報を伝える（広域避難所、備蓄品の場所…） ・公園と高速道路の連携（物品の搬入） ・公園内の資源を使ってたき火 ⇒ブロックを使ったかまど ・焼き芋 ・救護体験 ⇒道具の使い方、毛布を使った応急担架など ・炊き出しの練習会 ・備蓄品の確認、試食 ・避難ルートの確認 ・ロープワークの勉強会 ・池の水を使ってみる ⇒消防団の可搬ポンプを使う。水をろ過して生活用水に ・テントを建ててみる ・災害時のトイレの使い方 ・災害時の電気の確保 ⇒吹三小が小さなソーラー発電機を持っている？ ・スタンプラリーやクイズ、ミッション形式 ⇒子供向けで楽しめる内容にする ・公園に来る人が興味を持ちそうな、楽しそうな取組にする
その他	・どんぐり祭りとの日程コラボ、他のグループと同時開催など ・9月なら暑いので夕方の方が良い？ ・お金が取れるか？→公園の活動への還元 ・紫金山公園らしさのある社会実験に	・災害時に公園でできること、広域避難場所であることを周辺の人 は認識しているか ・地域の防災組織にも声をかけるべき ・小中学校も巻き込みたい

第3回のワークショップの結果

■第3回ワークショップの意見概要（社会実験の目標、やってみること）

	自然・歴史
目標	①知らない人に自然の良さ、今の活動を伝えていくことが必要 ②将来につなげられる取組にする
やってみることの案	・ 将来を見据えて、きっかけになるものをする ・ 知られてないことが共通課題 ⇒どんぐり祭りの内容やみどりの会の活動の内容をもっと発信してみる（周辺の小中学校、商業施設等） ⇒来た人に話を聞いてみて、情報発信の効果や課題を確認 ※新しいことをやるというより、情報発信の方法を試してみる ・ 自然工作、木こり体験（切ってもいい木を決めて切る） ・ 子供に足りないものを体験させてあげる（ビオトープなど） ・ 今後の活動につなげられるように観察会をする（田んぼをメインにした観察会など） ・ 市民のネイチャーガイド ・ ビジターセンターのような機能の設置（自然や環境に関する情報を知ることができる場所） ・ 歴史を学ぶ場所、案内板がほしい。
その他	・ 今あるもの、取組を利用する ・ 子供たちにどう伝えていくか、次の世代にどう引き継ぐかが重要 ・ 若い人がいない⇒どう参加させるか。子供との接点、子供の意見が必要

社会実験に向けた準備会

16

	憩いG		防災G		自然G	
	日時/場所	内容	日時/場所	内容	日時/場所	内容
第1回	7月4日(木)19時～ 東佐井寺地区公民館	憩いGの取組についての案出し 賑わいを生むイベント系を始めとし、新しい公園の使い方について意見が出た。	7月25日(木)19時～ 岸二地区公民館	防災Gの取組についての案出し 過去の防災訓練の取組に基づいた炊き出し等の案や、公園と連携するという今回ならではの、スタンプラリー等の案が出た。	7月13日(土)9時30分～ 紫金山公園 岸二地区公民館	紫金山みどりの会の活動見学 自然Gの取組についての案出しと他Gとの連携について 魅力マップなどを作成してはどうか。という意見が出た。また、憩いGからの提案である、自然工作についても実施する方向へ。
第2回	7月29日(月)19時～ 東佐井寺地区公民館	憩いGの取組の決定と、他Gとの連携について 防災訓練への協力や、自然工作への協力の意見が出た。	8月5日(月)19時～ 東佐井寺地区公民館	防災Gの取組の決定と、他Gとの連携について 現状ただでさえ手が足りていないので、他Gへの協力は少し難しそうだという意見が多く出た。様々な関連部署への協力が必要だ、という意見も。	8月1日(木)19時～ 東佐井寺地区公民館	自然Gの取組についての具体化 自然工作で実際に作成するものについてや、素材の収集法、防災Gの意見で出ているスタンプラリーとの連携についての意見交換が行われた。
第3回	8月22日(木)19時～ 亥子谷コミセン	取組についての具体化と、実施に向けた準備 前回出た意見のブラッシュアップや、解決し難い課題が生じた取組を取り止める等を行った。	8月23日(金)19時～ 岸二地区公民館	取組の具体化と、実施に向けた準備 当日の開催に向けて、現状どの程度必要な物資が揃っているのか？今後どのようにして揃えていくのか？等を話し合った。	8月29日(木)19時～ 岸二地区公民館	当日実施する取組の更なる具体化、流れの確認 実施するにあたって、問題点となる部分をブラッシュアップ。魅力マップについてもより良いものを作成する為に意見を出し合った。
第4回	9月14日(土)12時～ 紫金山公園	スウェーデントーチの切り込み入れ、着火実験 思いの外、上手く燃えなかったが、燃やすまでの過程が面白いという気付きを得た。	9月20日(金)19時～ 亥子谷コミセン	ろ過、火おこし体験の練習 ろ過器の性能確認を行うために、体験を事前に行った。		
全体会	10月23日(水)19時～ DRC7階会議室	各Gの取組報告。当日に向けての確認。				
第5回	11月4日(月)9時半～ 亥子谷コミセン	どんぐりクッキーづくり	※五月丘地区防災委員会 10月28日(月)19時～ 東佐井寺地区公民館	当日の流れ確認 ろ過、火おこし体験の練習	10月30日(水)19時～ 岸二地区公民館	自然工作体験の練習

社会実験の実施

紫金山公園社会実験

「この日だけ」の
お楽しみもりもり!

チョコでラクガキや、
吹田の鬼ごっこ
ひみずき
「火水木」もみんな
やってみよう!

防災食体験!
アルファ化米の
おにぎりや
焼き芋を食べてみよう!

火起こし体験など
防災ワークショップ

できるかな?!

1日ドッグラン

紫金山
MoriMoriDay
[しきんざん もりもりディ]

2024 11/9 sat

みんなで作ったチャレンジ企画「もりもり」な1日!

公園の田んぼの稲で
ミニぼうき作り

時間 **10:00-17:00**
※各企画の開催時間をご確認ください
雨天延期
雨天の場合は
11月17日(日)

場所 **紫金山公園** (メイン会場は北広場)
吹田市岸部北4丁目及び五月が丘東
公園駐車場は数に限りがあるため、できるだけ公共交通
機関や自転車・徒歩でのご来場をお願いいたします。

「みんなで作る紫金山公園
プロジェクト」って?

紫金山公園を
もっとステキに!
市民有志メンバーが中心となってもっとステキな公園
にするための話し合いやワークショップを重ねてきた
ました。みんなの「やってみよう」を試してみる社会実
験イベントだから、この日だけの限定プログラムが盛
りだくさんです。

公式Instagram
@shikinzan_park

園内一周スタンプラリー
ゴールでプレゼント
「MoriMoriDay」
オリジナルエコバッグ
& 防災食などの詰め合せ
※なくなり次第終了

他にもこんなイベントが!/
告知 **10/27(日)「どんぐり祭り」**
10:00~15:00
紫金山公園南口集合
(吉志部神社入口)
どんぐりを使った遊びや工作、
自然体験、自然観察を楽しもう!
主催:吹田自然観察会

入場 無料

先着 300名

主催:吹田市 企画・運営:「みんなで作る紫金山公園プロジェクト」
協力:株式会社 エースコック 株式会社 ダスキン 株式会社 DUSKIN 株式会社 スキン
紫金山みどりの会/五月が丘地区防災委員会/吹田市立岸部第二小学校/吹田市野池土地改良区/吉志部神社/西日本高速道路株式会社/吹田自然観察会
イベントに関するお問い合わせ:吹田市土木部公園みどり室 TEL 06-6834-5364

MoriMoriDay
[しきんざん もりもりディ]

普段はできない事も、やってみよう!
「紫金山公園でやってみよう」がもりもり!

※いずれもなくなり次第終了
※キッチンカー販売のみ有料

MoriMoriDay
メイン会場 (北広場)

西口 北口 梅林 佐井寺中学校 至西宮 名神高速道路 至京都 東口 元氣広場 吉志部神社 水田 岸部第二小学校 水田 水田

博物館では
秋季特別展開催中!
※別途入館料が必要です

10:00-16:00 無料
この日限定!
1日ドッグラン

10:00-16:00
普段は通ることができない
通路を1日限定で開放します。

10:00-16:00 無料
公園ぐるっと一周
スタンプラリー
受付はメイン会場、事務局テントにて
スタンプを集めて**エコバッグプレゼント!**

公園マップ配布 & 掲示
紫金山の魅力満載「自然MAP」や、
岸部第二小学校の6年生が作った
「こどもMAP」も掲示・配布予定!

数量
限定
地元の人気店が考案
「紫金山カレー」
キッチンカーで販売
協力:炭火焼とり 鳥べえ

いずれも
無料

家族で1日遊んで、学んで、自然を体感!
※いずれもなくなり次第終了

防災ワークショップ
10:00-12:00
もしもの時に公園でできること。
防災について学びながら体験!
◆火起こし体験
◆釈迦ヶ池の水のろ過体験
◆新聞紙でクッション作り

椅子やシートを持参!
チェアリング
12:00-17:00
たまには自然の中で
ただただボーッとしてみよう
人工芝を敷いたはだしゾーンも登場!

公園の田んぼの稲わらで
ミニぼうき作り
13:00-15:30
12:00-16:00
チョコで地面に!
ラクガキ体験

吹田生まれの鬼ごっこ!
ひみずき
みんなで「火水木」
13:00- 数回予定
15:00-17:00

非常食を食べてみよう!
11:30-13:00
アルファ化米おにぎりや、焼き芋の試食

公園の間伐材で
**スウェーデン
トーチ**



スタッフ集合写真



火起こし体験



ろ過体験



クッション作りとアツパくん体験



展示ブース



炊き出しの配布



名神下散策路



自然工作体験



火水木



チョークでお絵描き



意見交換掲示板



チェアリング

■当日の参加者

○スタンプラリー参加者

- ・スタンプラリー台紙配布：500枚
(準備400枚+追加100枚)
- ・デジタルスタンプラリー参加者：70名

■紫金山公園北広場内滞在者数（スタッフ含む）

時間	滞在者数	中学生以下割合
10時過ぎ頃	204人	23%
11時過ぎ頃	302人	37%
12時過ぎ頃	242人	47%
13時過ぎ頃	376人	43%
14時過ぎ頃	394人	50%
15時過ぎ頃	287人	46%
16時過ぎ頃	250人	43%

・WSからの参加人数
(32名(うちお子さん2名))

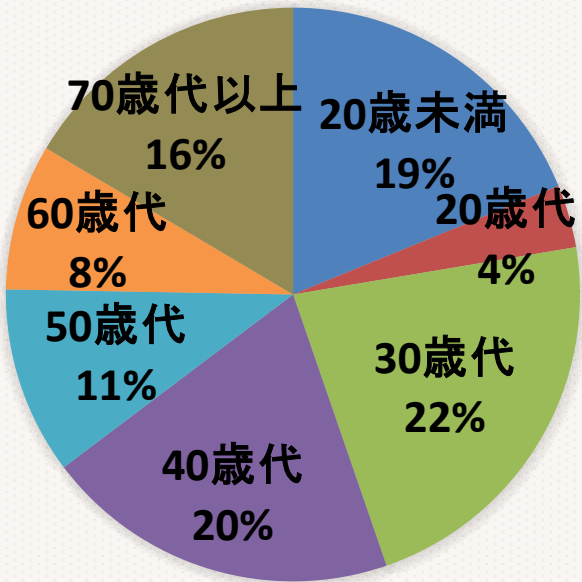
延べ2千人以上が来場

※調査員が目視でカウント
中学生以下は調査員の判断による



■年齢

- 30歳代、40歳代の子育て世代が約4割
- 60歳以上の高齢者と20歳代以下の若者がそれぞれ約4分の1
- 幅広い年齢層が参加

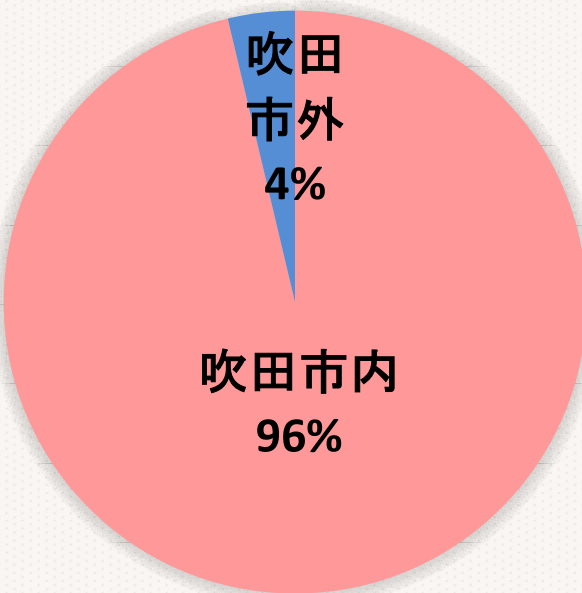


■お住まい

- ほとんどが吹田市内
- 紫金山公園の近隣からの参加者が多い。
- 防災訓練のコラボもあり、五月が丘からの参加者が多い。

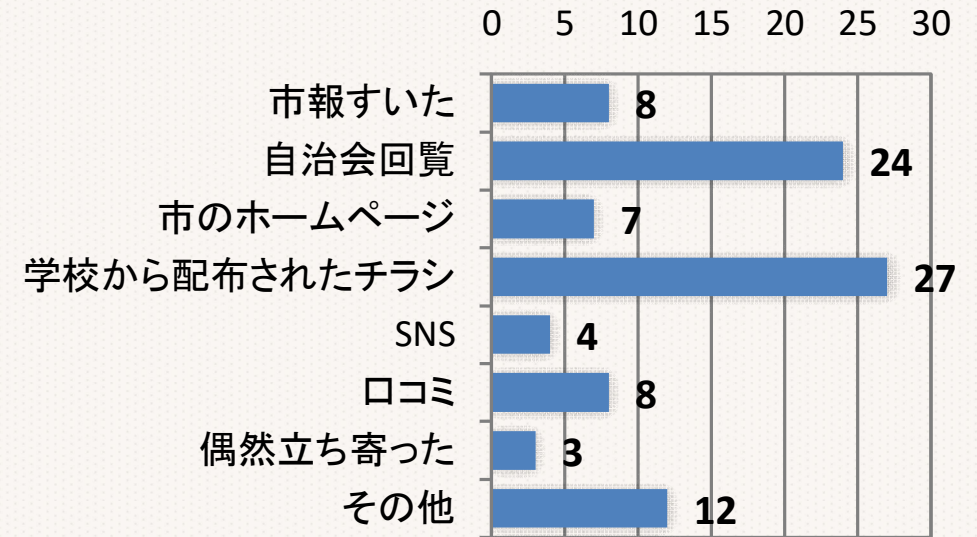
■吹田市の内訳

五月が丘東	21
五月が丘南	10
五月が丘	9
五月が丘北	4
佐井寺	5
原町	6
千里松が丘1	1
千里山月が丘	1
千里山虹が丘	1
千里山東4丁目	2
南吹田	3
岸部北	2
片山町1丁目	1
垂水町	1
藤が丘町	1
桃山台1	1
山田西	1
山田南	1
春日	1
泉町4	1
無回答	5
合計	78



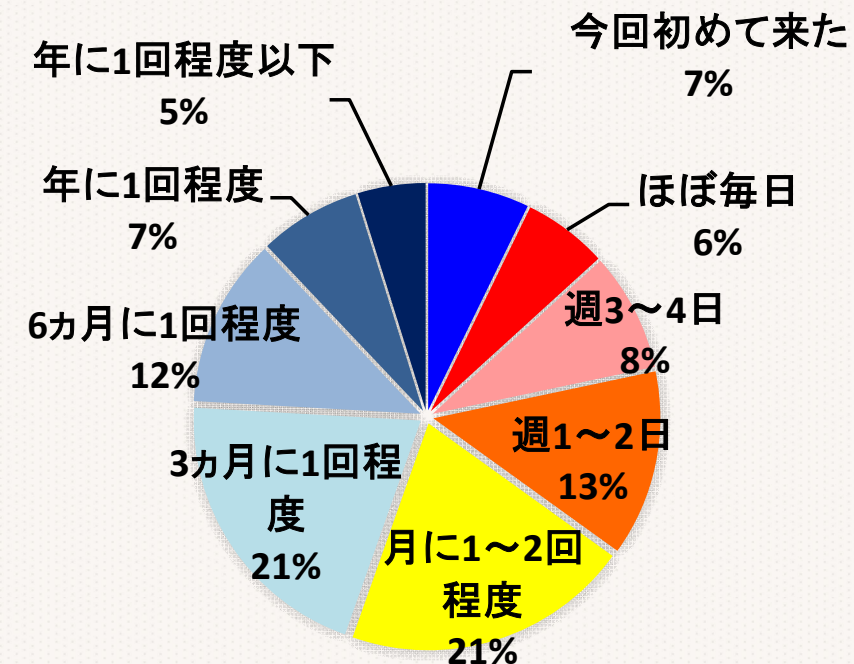
■ イベントを何で知ったか

- 「学校から配布されたチラシ」と「自治会回覧」がそれぞれ約3割
- 「学校から配布されたチラシ」の効果により、子どもや親子での参加が多かった。



■ 紫金山公園の利用

- 週に1回以上利用する人が約4分の1
- 初めて来た人は1割未満

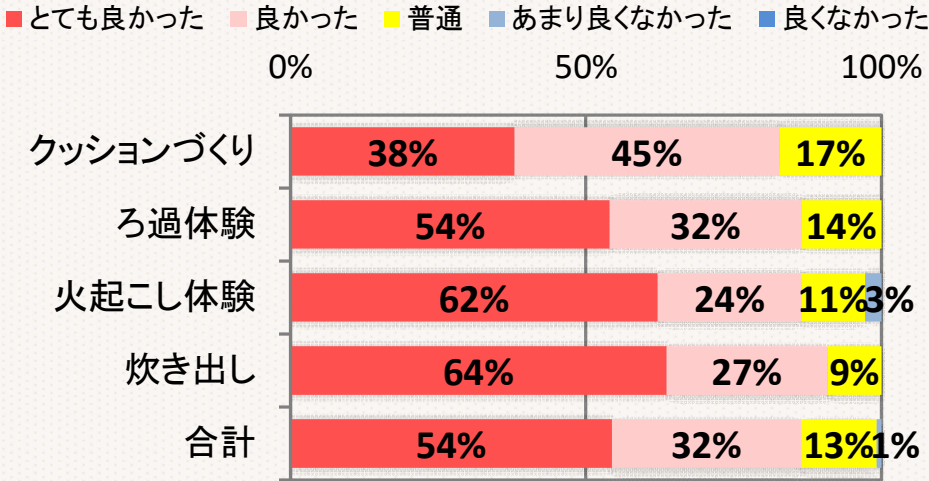




社会実験の実施（参加者アンケート）

■防災体験コーナーの参加

○どの体験においても「とても良かった」「良かった」の合計が8割を超えており、参加者から高評価



回答者数

29人

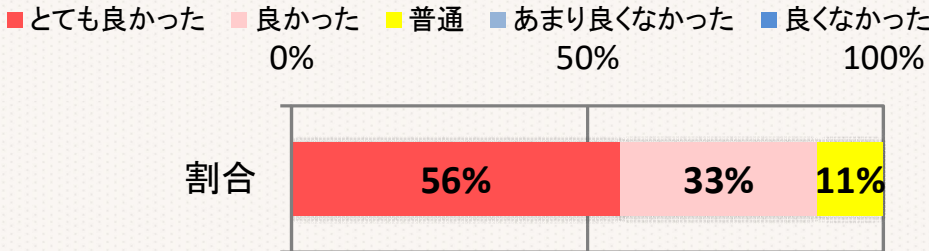
37人

37人

22人

■自然工作体験コーナーの参加

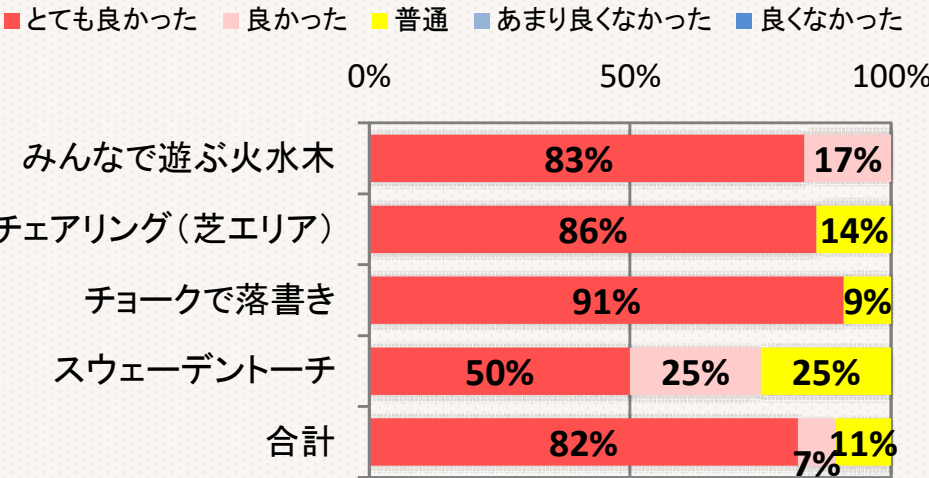
○「とても良かった」「良かった」の合計が約9割となっており、参加者から高評価



9人

■憩い・交流コーナーの参加

○「とても良かった」「良かった」の合計が8割を超えており、参加者から高評価



6人

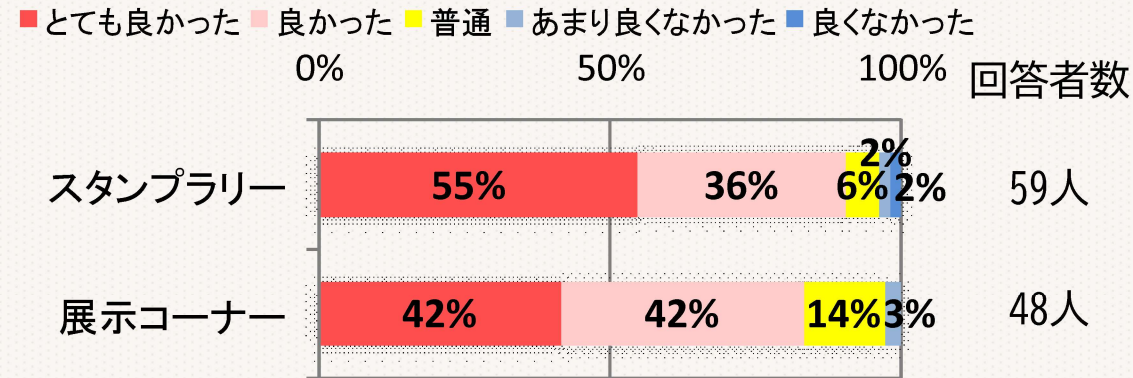
7人

11人

4人

■スタンプラリー等の参加

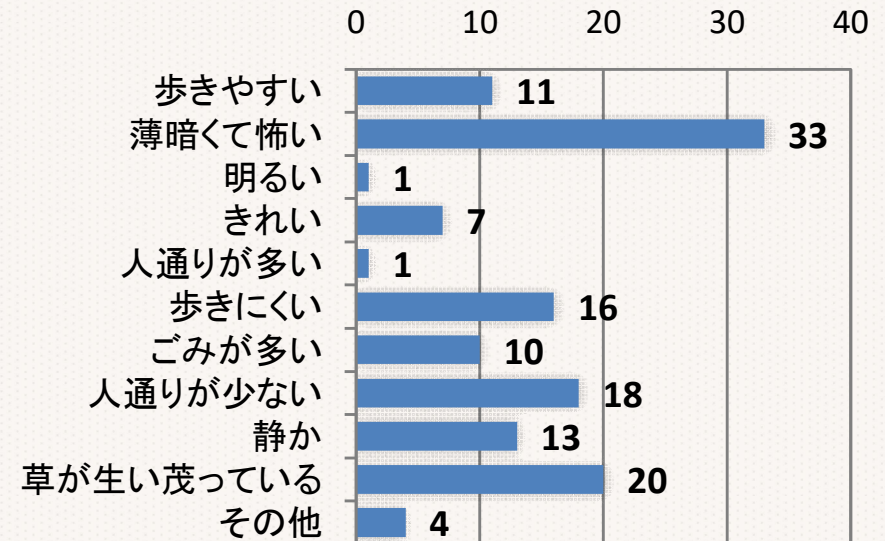
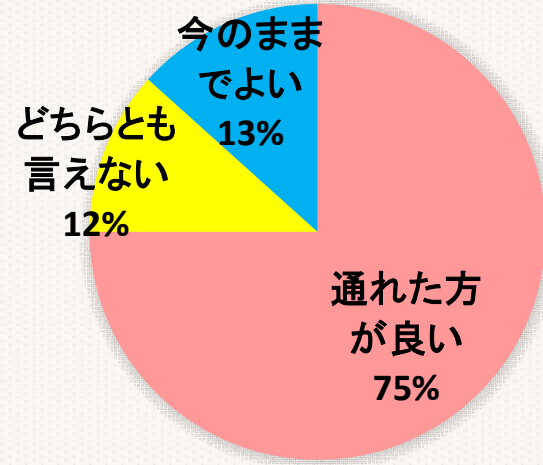
○「とても良かった」「良かった」の合計がスタンプラリーで9割、展示コーナーで8割を超えており、参加者から高評価



■名神高速道路下の通行

○75%の人が「通れた方が良い」と回答

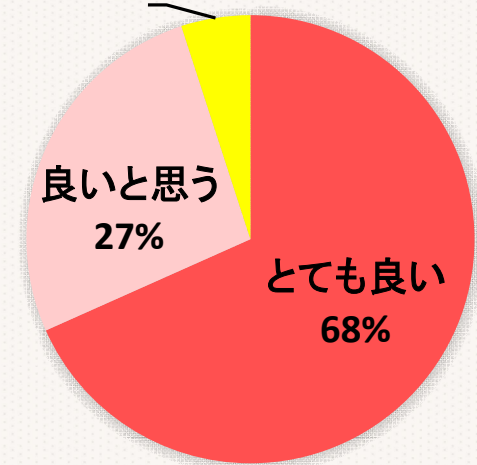
○「薄暗くて怖い」が5割を超えて最も多く、次いで「草が生い茂っている」「人通りが少ない」と続き、それぞれ約3割



■このような取組について

- 「とても良い」「良いと思う」の合計が95%となっており、ほとんどの人が肯定的

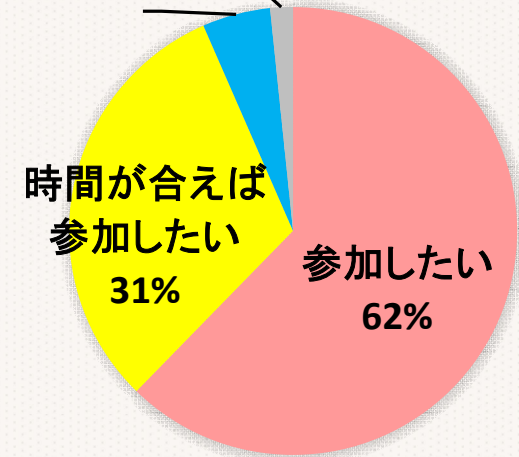
どちらとも言えない5%



■今後の参加意向

- 「参加したい」が6割、「時間が合えば参加したい」を合わせると、約9割の人がまた参加したいと回答

参加したくない 2%
どちらとも言えない5%



社会実験の実施

意見募集掲示板

ポストイット枚数：183枚

意見等有効枚数：128枚

(落書きや無関係など55枚)



ブランコ	17	ブランコがほしい(14)
		くものブランコがある(3)
トイレ	11	トイレをもっと明るくキレイにしてほしい(10)
		トイレベビーシートほしい
釈迦ヶ池	11	池が思ったより大きかった！！☺
		釈迦が池をもっときれいにしてほしい。(2)
		池のまわりや中をもっときれいにしてほしい
		鳥がもっと来るように池を整備
		カモさんと白鳥さんがいてほしい
		釣堀をつくって欲しい
		魚がもっといてほしいです
		一度池の水の中を調べてほしい。
		ネッシーがいるか確かめてほしい
		池のまわりが誰かいそうでこわい。
遊具	9	遊具をもっと増やしてほしい。(5)
		新しい遊具がほしい(3)
		トランポリンたくさんの人がとべる遊具がほしい



社会実験の実施

スタンプラリー	9	スタンプラリーが楽しかった (3)
		スタンプを集めながら歩くのが楽しかったです
		スタンプラリーの場所が分からなかった
		スタンプラリー難しかったけど親切なおじさんが考えてくれた。
		分かりづらく迷っていた所、親切にまわりを説明しながら案内していただいて助かりました
		スタンプ押した
		景品が豪華だった
ベンチ	8	ベンチをたくさんほしい (3)
		かまどベンチがほしい！ (5)
楽しい	7	楽しかった (4)
		めっちゃ歩いて気持ちよかった♡
		もう1回やりたい (2)
イベント	6	イベントをたくさんしてほしい (5)
		市が直轄で管理して時々今日のようなイベントをして欲しい。
トンネル	4	トンネルをもっと電気をふやしてほしい！ (3)
		トンネルが暗くて不気味
広さ	4	紫金山をもっと広くしてほしい。 (4)
プール	4	プールがほしい (4)
水	4	夏に水遊びができる場所が欲しい (2)
		この公園に噴水がほしい
		きれいな水が飲めること
滑り台	4	滑り台がある！ (2)
		ローラーすべり台が楽しかった。 (2)

■振り返り（スタッフの意見・感想・反省等）

- 好天に恵まれ、想定を大きく上回る来場者数で、子ども連れも多く、多世代が参加していた。
- 各コンテンツへの参加だけでなく、公園内で遊んだり、くつろいだりするなど、常に多くの人々が公園を利用し、笑顔が絶えない、公園として非常に良い風景が描かれていた。
- 参加者やスタッフからは高い評価を得ており、次の開催を望む声も見られる。
- キッチンカーは客が絶えず、かなりの待ち時間が発生するほどであった。
- 各コンテンツとも人気で多くの参加者を得た。
 - ・スタンプラリーは、用意した台紙が午前中でなくなるほどの人気で、園内の普段行かない所に行くなど、紫金山公園内を知ってもらう点では効果があるコンテンツだった。
 - ・防災体験は、五月が丘の地域の方以外の一般参加も多く、各ブースとも活気に満ちて、楽しみながら体験がされていた。炊き出しも時間通りに調理ができたが、配布に長蛇の待ち行列ができ、足りなくなる事態となった。
 - ・自然工作体験も想定を超え人気で、長い待ち行列ができるほどで、教えるスタッフがかなり不足していた。
 - ・チョークでお絵描き体験は、多くの子供たちが熱中する状況で、絵や舗装タイルの色付けを楽しんでいた。
 - ・火水木は小学生中心の運営が見事で、多くの参加者で賑わうだけでなく、実施エリア周辺を取り巻く大人たち観客も巻き込んでの盛り上がりを見せていた。
 - ・チェアリングの人工芝上は、人工芝があるだけで、いろいろな人が寄ってきて、座り、くつろぎ、語らうシーンが見られ、すごく良い雰囲気演出していた。スウェーデントーチもしっかりと燃えたので、併せて落ち着いた雰囲気が形成されていた。
 - ・展示ブースは、スタンプラリーのハンコを押す人が多く訪れるものの、しっかりと見てもらう、説明をするに至ることは少なかった。（マンホールトイレも）

■改善必要点

- 事前の準備をしてきたものの、当日の準備はモノや人の配置がスムーズに行かず、バタついて、準備に時間がかかった。人の配置、物品および作業手順の分かりやすさなど、今後、改善の必要あり。
- 当日の情報連絡と情報共有
- 全体に人手不足で、受付や指導などのスタッフが不足していた。シフトや役割などがうまく渡されず、一部のスタッフに大きな負担がかかっていた。
- 園内のバリアフリー化（全部ではなく特定のルート）
- 行列ができるコンテンツなどにおける対応（整理券など）
- 搬入搬出の車両出入りの円滑化

みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



グループワークIの進め方



今回の社会実験を踏まえ、地域の将来を見据えた視点で、
来年度の社会実験について考えてみる

●来年度、紫金山公園でどんなことができたらいいか。

- ⇒ 今回の内容の継続・改善・発展
- ⇒ 新たな取り組み内容 など

●どんな風にいろいろな人を巻き込んでいく？

- ⇒ 今回のワークショップメンバーは解散。来年度の社会実験に
どういう人が関わってくれたらいい？
- ⇒ 紫金山公園は、**みんなで作っていく**ことが重要
- ⇒ **自分自身の関わり方**の視点が必要



各班で出た意見を全体で共有(発表)

●例えばこんなこと！

⇒ 楽しみながら学ぶ防災体験

夜の公園を活用！

～ナイトパーク×防災キャンプ～

ナイトパーク演出

-ソーラーライトやランタンを設置！

防災キャンプ体験

-有事の避難生活をリアルに体験！

非常食フェス

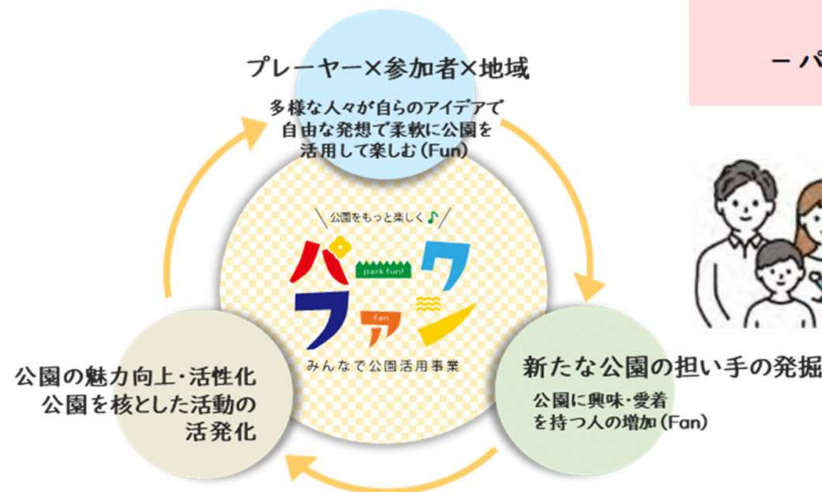
-防災食を楽しく学べる調理体験！



●例えばこんなこと！

⇒ 公園でプロボノ
(職業上のスキルや経験を活かして
公園の魅力アッププログラムを提供)

参考) 大阪市 みんなで公園活用事業
(愛称：パークファン)



まちの将来像

ーパークファンが目指すものー



● 新たな人のつながりによる地域コミュニティの活性化

- 健康増進・子育て活動等の活発化
- 地域課題の解決

● 住むまちとしての都市魅力の向上

- 市民生活が豊かになる
- 自分のまちが好きになる

<実施プログラム例>

- あそびでつながる ぼうさい×プレーパーク
- くつろぎの居場所づくり
- 昭和なつかし遊び
- パークウクレレ など

⇒ ドッグランや名神下の通行を時間を決めて数日間やってみる。

紫金山公園の目指すべき姿（案）

令和7年(2025年)2月
吹田市土木部公園みどり室

公園の概要

紫金山公園は本市の中心部に位置する総合公園です。名神高速道路の南北にまたがり、吹田サービスエリアに隣接しています。南側は起伏に富んだ地形となっており、吉志部神社の背後の鎮守の森や吉志部瓦窯跡などの史跡、吹田の歴史や文化を伝える吹田市立博物館、釈迦ヶ池（面積約3.0ha）などがあることも特徴となっています。

公園の周辺は住宅地、学校などの文教施設が立地しており、子供から大人まで幅広い年代の地域住民に利用されています。

紫金山公園の名前の由来といわれているコバノミツバツツジは、明るい林を好むため、樹木を間引くなど、市民を中心とした保全活動が進められています。コバノミツバツツジ以外にもさまざまな動植物が観察できる場所として生物多様性の保全を目的とする「モニタリングサイト1000」に登録され、市民によるチョウ類などのモニタリングが行われているなど、まちなかの公園でありながら豊かな自然を感じることができます。

種別：総合公園

開設：昭和48年（1973年）4月1日

所在地：吹田市岸部北4丁目、五月が丘東

開設面積：8.4ha（都市計画面積11.4ha）

その他：史跡指定（吉志部瓦窯跡）、埋蔵文化財包蔵地、広域避難地



コバノミツバツツジ



釈迦ヶ池

※釈迦ヶ池は未開設区域



南側広場



元気広場



北側広場



吉志部神社

※吉志部神社は公園区域外



吹田市立博物館

公園の課題

①自然環境や歴史の保全

紫金山公園は市街地の中で豊かな自然を感じられる貴重な空間となっています。2001年にはこれらの自然や歴史的な資源の保全、活用に向けた「吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画」を市民参画により策定し、整備が行われてきました。

計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要です。

②安心・安全な利用環境の確保

紫金山公園は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備など、健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場ですが、樹木が鬱蒼と茂って「近寄りづらい」と感じている利用者もいます。公園内の複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。また、広域避難地であることから、防災機能のハード・ソフト両面からの充実が求められます。

より多くの人が紫金山公園の魅力を感じることができるようにするためには、安心・安全でわかりやすく、訪れたいくなる利用環境の確保やバリアフリー化、防災機能の向上が必要となります。

③市民活動の次世代への継承

現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われていますが、メンバーの減少なども見られるようになっていきます。

将来にわたって紫金山公園の魅力を維持・向上させていくためには、現在の活動を次世代へと引き継ぎながら、市民による新たな利活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。

魅力向上に向けた理念

Mori Mori 里山※ Park

「人×活動×交流×持続」

～つむいでめぐってまどってつづける 吹田の真ん中 紫金山！～

※ここが言う里山とは、紫金山公園の意匠的な構図であるコバノミツバツツジに日が当たったよう、定期的に常緑樹の樹影などが交錯し、明るい樹林帯が形成・維持されるような自然環境。

目標像（パークビジョン）

個性と活力のある都市づくりを実現！

- 国の史跡や博物館、里山など他にはない特徴を、市民など多様な主体とともに、デザインや様々なツールで発信していきます。
- 北側と南側の周遊性を高める、利用者がそれぞれ異なる地形や特徴を楽しみ健康づくりに活かすなど、Well-beingに貢献できる公園を目指します。

災害に対してレジリエントな都市を形成！

- 災害時に活用できる施設や、グリーンインフラの持つ延焼防止や雨水貯留など多様な機能を活用できる公園を目指します。
- 平常時からイベント利用などを通じて、災害時の対応につながるような、防災コミュニティ形成の場を目指します。

つながりを実感できる暮らしを実現！

- 自然環境保全や環境学習を始めとする市民活動が継続できるよう取り組み、公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。
- 地域に受け入れられるイベントなどを通じて、異なる世代や分野で活動する市民が交流し、新たなつながりが生まれる機会を創出します。

生き物や環境と共生する都市を形成！

- 都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組む中で、市民団体と連携し、自然共生サイトへの登録や、民間事業者とのマッチングなど、ネイチャーポジティブの実現、地域の生物多様性向上に貢献する空間を創出します。
- 市民が自然に触れることができる空間として活用し、地域の自然環境の重要性を発信するとともに、市民の環境保全への意識を高めます。

紫金山公園の目指すべき姿（素案）

35

ゾーン別運営方針

A	北広場ゾーン	- 市民の憩いや交流など多様なニーズに対応した空間を創出します。 - 地域防災力向上に係る機運の高まりに対応した、ハード面の充実を行います。
	吹田の里ゾーン	- 田んぼやため池の生き物観察や農業体験など、市街地の中で、昔のくらしや文化を感じる貴重な体験ができる空間の保全に努めます。 - 吉志部神社と隣接する、自然環境学習・イベントに利用される公園南側の貴重な広場として、トイレの改修など、快適な空間づくりに努めます。
B	鎮守の森ゾーン	- 人の手による管理を最小限に抑えつつ、自然の遷移に委ねます。 - 市民団体・民間事業者と協働で、植生調査を行うとともに、安全な散策路からの自然観察、採集が行える環境整備に努めます。
	里山ゾーン	- 市民団体・民間事業者と協働で、モニタリングを行いながらその結果に合わせて対応を変える順応的管理（アダプティブマネジメント）を実施し、魅力的な里山環境の保全を目指します。 - 案内及び説明サイン、園路などの補修・更新により、コバノミツバツツジをはじめ、誰もが自然を感じ、楽しめる里山環境を創出します。 - スタンプラリーや体験型プログラム、周辺の小中学校との連携、PRチラシなど、自然の魅力の情報発信を通して公園利用者に保全活動への参加を募り、活動を次世代へと引き継ぎます。
C	子供の遊び場ゾーン	- 既存の遊具や施設などの補修・更新により、安心して遊べる空間を創出します。 - 北側広場との利用状況や立地環境の違いを活かした昆虫の森など、魅力的な空間の創出に努めます。
	水辺探索ゾーン	- 水際の植栽の管理、安全柵の補修などにより、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。 - ドッグランなど、利用状況を踏まえた広場空間の活用を検討します。
D	博物館ゾーン	- 歴史文化の発信拠点である博物館が園内に立地することを活かし、史跡と連携した学習コンテンツの提供を目指します。 - 都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するよう大阪府と連携を図ります。
	全体	- 博物館と連携し、公園利用や市民活動の拠点となる施設（パークセンター）の設置やデジタルコンテンツなどの整備を検討します。 - それぞれのゾーンをつなぐ主要な散策路の補修・更新と合わせ、バリアフリー化を図るとともに、距離表示による健康づくりの啓発などにより、利便性をより向上させます。

※水辺ゾーン（未開設区域）は公園を特徴づける釈迦ヶ池がありますが、釈迦ヶ池土地改良区の管理地であるため、連携を検討していきます。
 ※公園区域外である名神高速道路下の歩行空間の改善に向けて、管理者と連携し、取組みます。
 ※都市計画道路の整備にあたっては、自然環境への影響に配慮することを求めています。

目指すべき姿のイメージ



オープンな広場空間の創出



市民の活動・交流の場



水辺の散策路整備



案内及び説明サインの整備・更新



遊具の補修・更新



トイレの改修



農業体験

※写真の施設、取組、ゾーンなどはイメージであり、決定した事業計画ではありません。また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。



都市計画公園区域



災害時に活用できる施設の整備



ドッグランの設置



スタンプラリー



活動のPRチラシ

公園の課題

①自然環境や歴史の保全

紫金山公園は市街地の中で豊かな自然を感じられる貴重な空間となっています。2001年にはこれらの歴史的な資源の保全、活用に向けた「吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画」を市民参画により策定し、整備が行われてきました。

計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要です。

②安心・安全な利用環境の確保

紫金山公園は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備など、健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場ですが、樹木が鬱蒼と茂っていて「近寄りがたい」と感じている利用者もいます。公園内の複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。また、広域避難地であることから、防災機能のハード・ソフト両面からの充実が求められます。

より多くの人が紫金山公園の魅力を感じることができるようにするためには、安心・安全でわかりやすく、訪れたいくなる利用環境の確保やバリアフリー化、防災機能の向上が必要となります。

③市民活動の次世代への継承

現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われていますが、メンバーの減少なども見られるようになっていきます。

将来にわたって紫金山公園の魅力を維持・向上させていくためには、現在の活動を次世代へと引き継ぎながら、市民による新たな利活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。

魅力向上に向けた理念

Mori Mori 里山※ Park

「人×活動×交流×持続」

～つむいでめぐってまざってつづける 吹田の真ん中 紫金山！～

※ここで言う里山とは、紫金山公園の象徴的な樹種であるコバノミツバツツジに日の光が当たるよう、定期的に常緑樹の間引きなどを実施し、明るい樹林地が形成・維持されるような自然環境。

目標像（パークビジョン）

個性と活力のある都市づくりを実現！

- 国の史跡や博物館、里山など他にはない特徴を、市民など多様な主体とともに、デザインや様々なツールで発信していきます。
- 北側と南側の周遊性を高める、利用者がそれぞれ異なる地形や特徴を楽しみ健康づくりに活かすなど、Well-beingに貢献できる公園を目指します。

災害に対してレジリエントな都市を形成！

- 災害時に活用できる施設や、グリーンインフラの持つ延焼防止や雨水貯留など多様な機能を活用できる公園を目指します。
- 平常時からイベント利用などを通じて、災害時の対応につながるような、防災コミュニティ形成の場を目指します。

つながりを実感できる暮らしを実現！

- 自然環境保全や環境学習を始めとする市民活動が継続できるよう取り組み、公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。
- 地域に受け入れられるイベントなどを通じて、異なる世代や分野で活動する市民が交流し、新たなつながりが生まれる機会を創出します。

生き物や環境と共生する都市を形成！

- 都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組む中で、市民団体と連携し、自然共生サイトへの登録や、民間事業者とのマッチングなど、ネイチャーポジティブの実現、地域の生物多様性向上に貢献する空間を創出します。
- 市民が自然に触れることができる空間として活用し、地域の自然環境の重要性を発信するとともに、市民の環境保全への意識を高めます。

ゾーン別運営方針

北広場ゾーン

A

- ・市民の憩いや交流など多様なニーズに対応した空間を創出します。
- ・地域防災力向上に係る機運の高まりに対応した、ハード面の充実を行います。

吹田の里ゾーン

B

- ・田んぼやため池の生き物観察や農業体験など、市街地の中で、昔のくらしや文化を感じる貴重な体験ができる空間の保全に努めます。
- ・吉志部神社と隣接する、自然環境学習・イベントに利用される公園南側の貴重な広場として、トイレの改修など、快適な空間づくりに努めます。

鎮守の森ゾーン

C

- ・人の手による管理を最小限に抑えつつ、自然の遷移に委ねます。
- ・市民団体・民間事業者と協働で、植生調査を行うとともに、安全な散策路からの自然観察、採集が行える環境整備に努めます。

里山ゾーン

D

- ・市民団体・民間事業者と協働で、モニタリングを行いながらその結果に合わせて対応を変える順応的管理（アダプティブマネジメント）を実施し、魅力的な里山環境の保全を目指します。
- ・案内及び説明サイン、園路などの補修・更新により、コバノミツバツツジをはじめ、誰もが自然を感じ、楽しめる里山環境を創出します。
- ・スタンプラリーや体験型プログラム、周辺小中学校との連携、PRチラシなど、自然の魅力の情報発信を通して公園利用者に保全活動への参加を募り、活動を次世代へと引き継ぎます。

※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。
また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。



市民の活動・交流の場



オープンな広場空間の創出



災害時に活用できる施設の整備



トイレの改修

ゾーン別運営方針

子供の遊び場ゾーン

- ・既存の遊具や施設等の補修・更新により、安心して遊べる空間を創出します。
- ・北側広場との利用状況や立地環境の違いを活かした昆虫の森など、魅力的な空間の創出に努めます。

水辺探索ゾーン

- ・水際の植栽の管理、安全柵の補修等により、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。
- ・ドッグランなど、利用状況を踏まえた広場空間の活用を検討します。

博物館ゾーン

- ・歴史文化の発信拠点である博物館が園内に立地することを活かし、史跡と連携した学習コンテンツの提供を目指します。
 - ・都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するよう大阪府と連携を図ります。
- 全体**
- ・博物館と連携し、公園利用や市民活動の拠点となる施設（パークセンター）の設置やデジタルコンテンツなどの整備を検討します。
 - ・それぞれのゾーンをつなぐ主要な散策路の補修・更新と合わせ、バリアフリー化を図るとともに、距離表示による健康づくりの啓発などにより、利便性をより向上させます。

※水辺ゾーン（未開設区域）は公園を特徴づける釈迦ヶ池がありますが、釈迦ヶ池土地改良区の管理地であるため、連携を検討していきます。

※公園区域外である名神高速道路下の歩行空間の改善に向けて、管理者と連携し、取り組みます。

※都市計画道路の整備にあたっては、自然環境への影響に配慮することを求めています。

※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。
また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。



農業体験



水辺の散策路整備



遊具の補修・更新



ドッグランの設置

みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



グループワーク2の進め方



紫金山公園の目指すべき姿(案)について考えてみる

●将来の紫金山公園の魅力アップをイメージする。

⇒ 提示した目指すべき姿（案）に対する意見

- ・ 紫金山公園を知らない人にも伝わるように
- ・ この言葉の意味は？
- ・ こんな理念もいいのでは
- ・ わくわくしたり魅力的に見せるデザインの工夫は？

など



各班で出た意見を全体で共有(発表)

ふりかえりシート・今後の予定

ふりかえりシートを ご記入・ご提出ください。

●本日のご感想など

※**今後も**紫金山公園に関する案内
メールを受信されたい方は、
必ず**お名前とメールアドレスを**
記入してご提出ください。

昨年11月から始まった、suitable city みんなで
躍動プロジェクトの推進のため、本市の様々な
ヒト・モノ・コト等の魅力を掛け合わせ、新しい価値
が生まれることを目指す共有型ロゴマーク
「吹田クロスロゴ」も作ってみてください。



基本はロゴの左右に
言葉を入れるだけ！



みんなで作る
紫金山公園プロジェクト

第4回ワークショップ (2025.2.11)

お名前: _____

ワークショップへのご参加ありがとうございました。

今後も紫金山公園に関する案内メールを受信されたい方は、以下にメールアドレスを
ご記入下さい。⇒ _____ @ _____

■ワークショップの感想などがあればお書きください。

よろしければ、お好きな色で「吹田クロスロゴ」を作っていただけませんか？
例は、紫金山公園と人が掛け合わさって魅力アップ！をイメージしています。
他に紫金山公園×食、博物館×自然など掛け合やす言葉だけでも大丈夫です。
※SNSなどで、PR用に使わせていただくことがあります。

例

紫金山公園
人
魅力アップ



記入面が足りない場合、裏面をご利用ください。

